

米沢ブランド KPI調査 産業プレイヤー調査 結果報告書 (2021年1月調査)

2021/3/12

米沢市産業部米沢ブランド戦略課

調査概要

- ◆ 調査目的：米沢品質向上運動の主たるプレイヤーである、様々な産業に従事する人が、現時点で米沢のブランドコンセプトや、この運動体についてどう受け止めているのか、参加の意志や、運動を進めるうえでの課題などを明らかにする。
本調査の項目は、今後時系列的にも変化や進捗を確認していく。
- ◆ 調査対象者：米沢市内の産業、市民団体のキーマン
農業、観光業、商工業、NPO等の団体など
- ◆ 調査方法：郵送調査
- ◆ サンプル数：発送数 150サンプル（農業30、観光業30、商工業50、NPO等10、その他30）
回収数 34サンプル（農業11、観光業2、商工業11、NPO等3、その他6）
※回収率23%
- ◆ 実施期間：2020年1月1日（金）～1月18日（月）
- ◆ 調査企画：株式会社東北博報堂
- ◆ 調査実施機関：株式会社マクロミル

米沢のスローガンに対する認知と共感

- 昨年の調査時点で、スローガン認知・共感共に8割に達し既にほぼ上限と言え、今年も同程度となった。
- その中で、認知では「知っている」、共感では「非常に」のトップボックスが若干増加しており、認知・共感のレベルはより高まった。
- 産業別では、農業関係者の共感がやや低い傾向は昨年までと同様で、今年はより共感度が低くなった。

Q1 あなたはこのスローガンをご存知でしたか。次の中から、あてはまるものをひとつお選びください。
Q2 あなたはこのスローガンに対して、共感されますか。次の中から、あてはまるものをひとつお選びください。

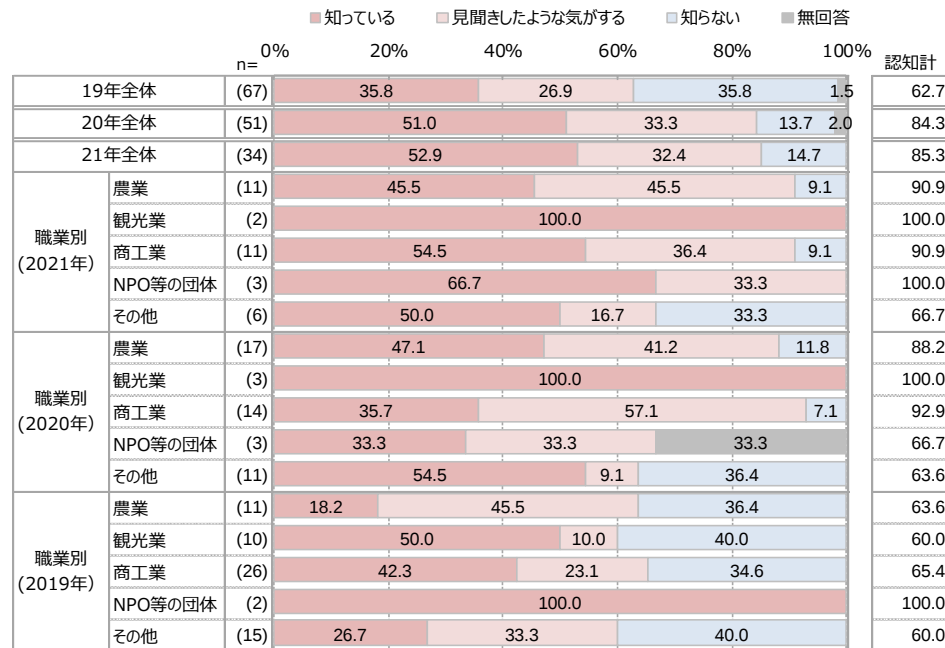
SA
SA

※全体ベース

挑戦と創造のあかし 米沢品質

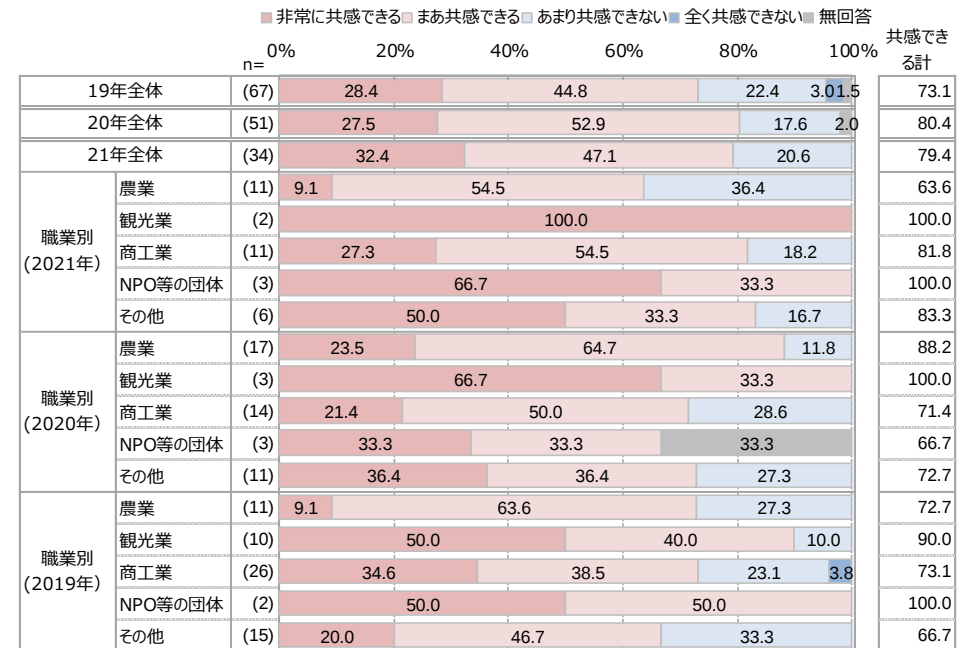
米沢に脈々と受け継がれる「なせばなる」、
それは尽きることのない挑戦と創造のエネルギー。
常にその先を切り拓く「精神」で挑み、自らの「行動」で創り出す、
人の心を動かし、明日を輝かせる「価値」を、
私たちは「米沢品質」と呼ぶ。

【スローガン認知】



※認知計(「知っている」+「見聞きたような気がする」)

【スローガンへの共感】



※共感できる計(「非常に共感できる」+「まあ共感できる」)

スローガンへの共感理由/非共感理由

- 共感の内容としては、DNAとしての「なせばなる」の精神の継承と、挑戦・開拓・新しい取り組みといった未来への想いが掛け算となっている印象。
- ネガティブな意見としては、スローガンの意味するところがよく分からない、あるいはスローガンの内容が大げさすぎたり、範囲が広すぎてついていけない、といった意見がある。

Q3 前問でそうお答えになられた理由について、どんなことでも結構ですのでお聞かせください。

※前問Q2：あなたはこのスローガンに対して、共感されますか。次の中から、あてはまるものをひとつお選びください。

自由記述

非常に共感できる

地元の商品に自信と誇りを持つことは良いことだと思う
挑戦と創造は農業に大切なキーワードだと思うから
やはり「なせばなる」の精神につける。
挑戦し行動することには上杉文化にもつながる
「米沢品質」という着地点に向けてのアプローチ「挑戦と創造」の手法がわかりやすい。
よく考えられるスローガンで納得する点が多いです。
米沢はいつも反骨精神で危機を乗り越えて、すばらしい製品等を世に送り出してきたから。

まあ共感できる

なせばなるは米沢の象徴と思う
現状に満足せず、新しい取組に挑戦しているから。
米沢で生産されている優秀な製品をPRし、市経済発展の後押しする事は大変重要で大切だと思います。
正にこれから進むべき方向だから。
未来を切り拓く精神と行動は大事だと思う
事業を継続していくうえで、当然のことだと思うから。
いささか大仰過ぎる気がします。
上からの押し付けでなく自身の行動力重視が良く感じる
「米沢品質」だけでは、良くわからない。
まだよく知られてない

あまり共感できない

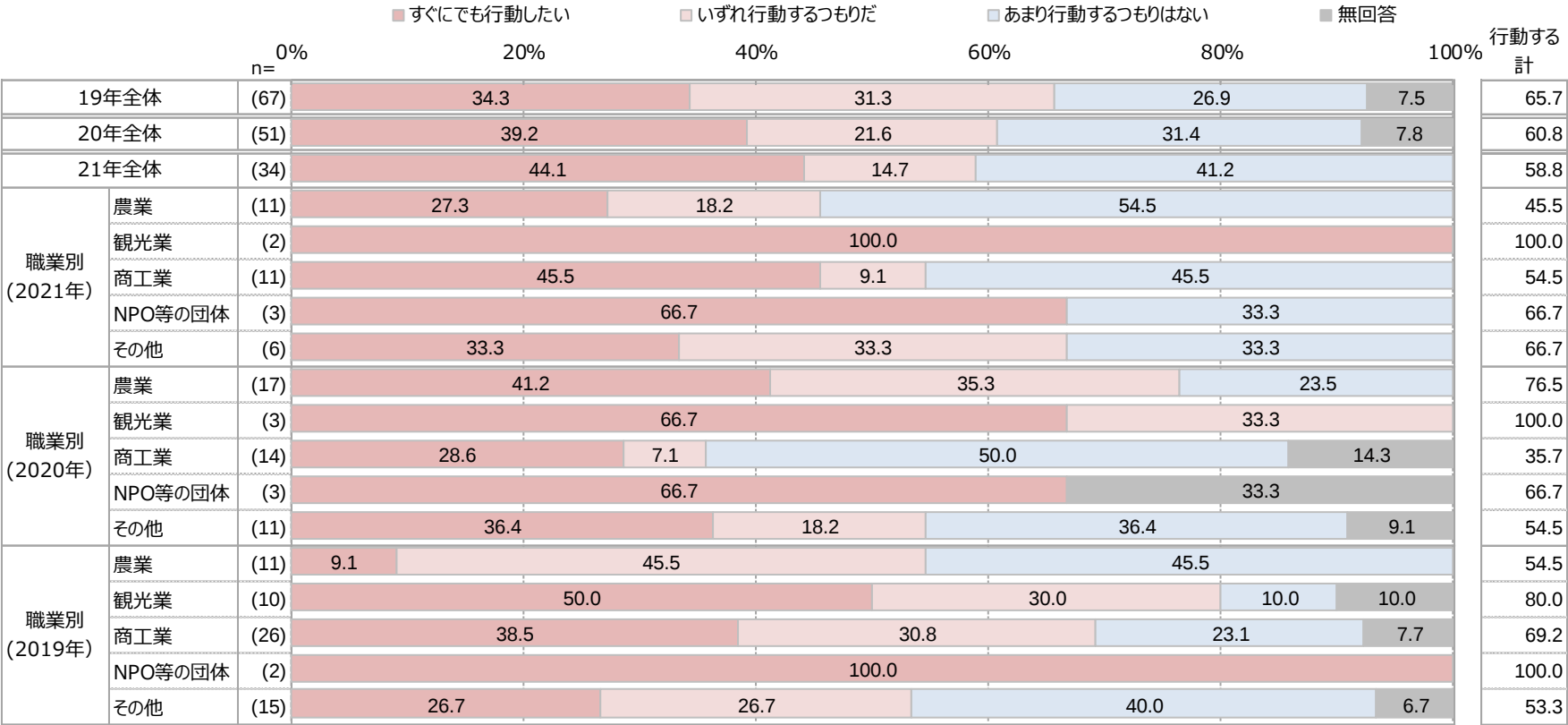
あまりよく分からない
昔の米沢と今の米沢は違うと思う
スローガンの内容がドラマチックなイメージで聞こえは良いと思うが伝えたい意味が理解出来ない
米沢品質のネーミングと一致できない
あまりにも広範囲なことを考え過ぎている。
農業、工業、商業、観光、など分野、分野に分けてやる方が良い
わかりづらい

品質向上運動に対する行動意向

- 米沢品質向上運動に対する行動意向全体の数字は2ポイント下がったが、「すぐにでも」は5ポイント程度上昇して、積極的な行動意向者は増えた。
- 一方「あまり行動するつもりはない」も10ポイント増え、「いずれ行動するつもり」という曖昧層が減って両極化した。
- 行動を逡巡するのは農業でやや多い。昨年「すぐにでも行動したい」が少なかった商工業で積極行動層が増えた。

Q4 あなたは、今携わっているお仕事において、スローガンに則った行動をしていきたいと思われますか。次の中から、あてはまるものをひとつお選びください。 SA

※全体ベース



※行動する計(「すぐにでも行動したい」+「いずれ行動するつもりだ」)

行動意向の理由

- 農産品を含めた品質向上や生産拡大、デジタルに対応した営業活動など様々な具体的な行動が顕在化している。
- SDGsといった時代に合った新しい行動に触れる意見も。
- スローガンが表面的、レベルが低いといった批判の声もある。

Q5 Q4で1、2（すぐにでも行動したい、または、いずれ行動するつもりだ）を選んだ方に_行動の具体的な内容について、どんなことでも結構ですでお聞かせ下さい。

Q6 Q4で3（あまり行動するつもりはない）を選んだ方に_その具体的な理由について、どんなことでも結構ですでお聞かせください。

自由記述

すぐにでも行動したい
SDGsへの取り組み
自信をもって価値ある品物を創ろうと日々思っている
枝豆、上杉豆の作付け拡大と品質向上。
新商品開発、PR方法などの研究
観光業なので、この活動が業界にとって有益と考えます
結果ではなくプロセスを大事にしていく日常業務 その積み重ね、PRはしてはいけない
ものづくりに対し、常により良い方法を考え、実行しています。このスローガンからは、さらに前進すること、新しい技術を積極的に取り入れることが必要と思います。
農産品の販売
今まで取組んでこなかった営業(Webを活用した受注)をスタートさせている。
季節の変化及び温度差のある気候を利用しての農産物及花卉の栽培
米沢の自然環境等を活かした活動をこれからも続けていきたい。
業ムのたなおろし。

いずれ行動するつもりだ
合致する事をこれから考えて行きたい
会社方針との整合性
もう少し農産物の品質向上の統一化をはかるため

あまり行動するつもりはない
活動の内容がまだあまりよく分からないから
あまりピンとこない
自分は農業やっているのでJAなどが中心になって十分やっていると思う。
自身の年齢を考えると・・・。
米沢品質が市全体、市民一人一人で作るものではないと考える。
米沢品質ではなく「日本品質」を目指したい。
表面的すぎて、どこかの総理のスローガンのパクリかと思った。
レベルが低すぎる
会社で技術の伝承はあるが社内だけで外部に展開するものではないため
地域の特産品など栽培していないが、大いに応援したい。(自家用程度)

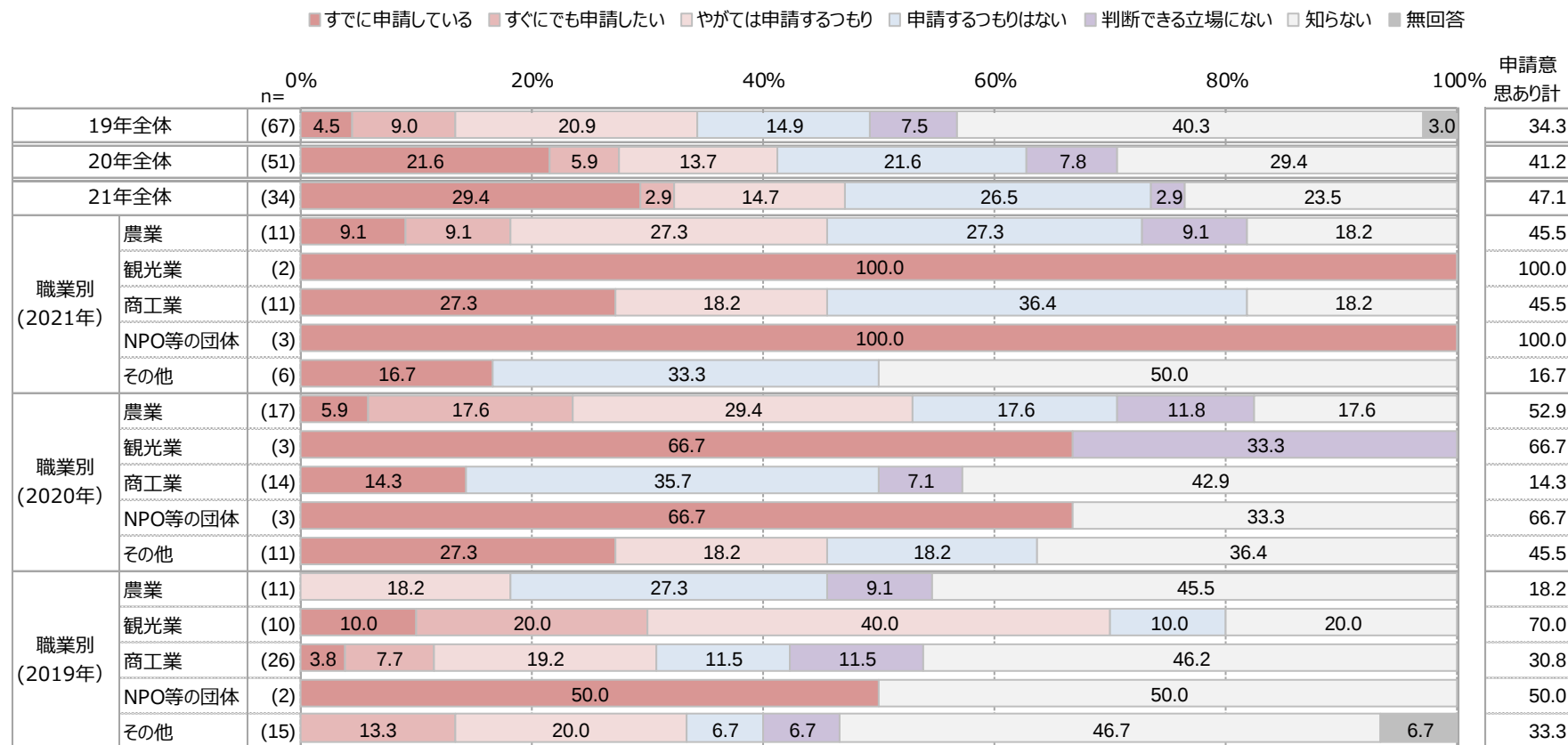
TNYへの参加意思

- TNYへの参加意向は、既申請者含めて増加傾向で、「すぐにでも申請したい」「やがて申請するつもり」を合計したポテンシャル層は16.7%。
- 「農業」「商工業」「その他」で、「申請するつもりはない」が3割前後と多い。

Q7「TEAM NEXT YONEZAWA」への参加のご意志はありますか。次の中から、あてはまるものをひとつお選びください。

SA

※全体ベース



※申請意思あり計(「すでに申請している」～「やがては申請するつもり」までの合計値)

TNY参加意向なしの自由回答

- TNYへの参加意向がない理由は、スローガンや米沢品質向上運動の考え方への非共感、地域よりは会社の方針優先、自分の年齢や後継者不足など。

Q8 Q7で4（申請するつもりはない）を選んだ方に_その具体的な理由について、どんなことでも結構ですでお聞かせ下さい。

自由記述

申請するつもりはない

ピンとこない

自分の年齢

組織、形に囚われたくない。

地域ではなく会社方針で動く

スローガンが品質という言葉と一致しない

一般的な作物の栽培だけで後継者もいないため

米沢品質AWARDへの挑戦意思

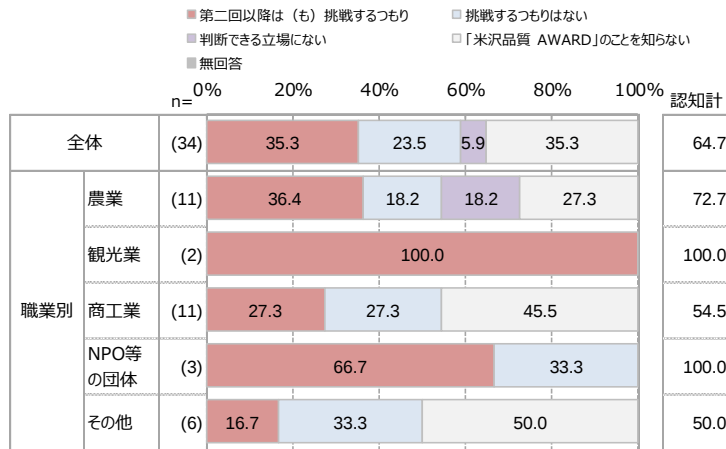
- 米沢品質AWARDへの挑戦意思は、昨年よりも更に高まり、35.3%。
- 一方でまだ米沢品質AWARD自体を知らない人も同数存在する。
- 「商工業」「その他」で挑戦意思は低めだが、「商工業」の挑戦意思は昨年よりは高まっている。

Q9「米沢品質 AWARD」へのチャレンジのご意志はありますか。次の中から、あてはまるものをひとつお選びください。
Q10 その具体的な理由について、どんなことでも結構ですので聞かせください。

SA
自由記述

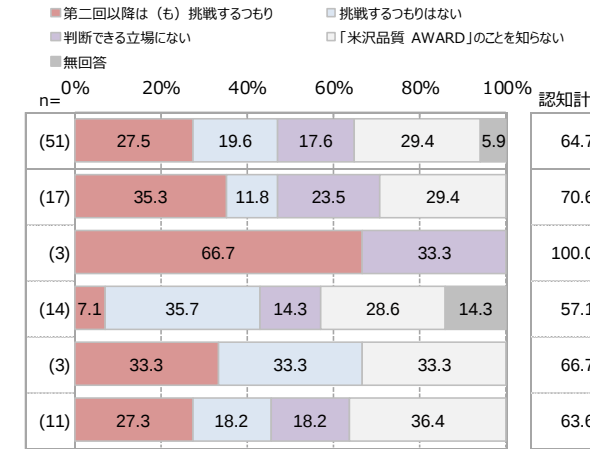
※全体ベース

【2021年】



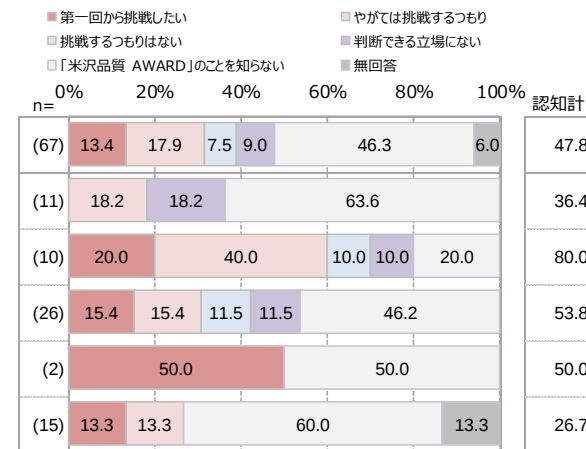
※認知計(「第二回以降は（も）挑戦するつもり」～「判断できる立場にない」までの合計値)

【2020年】



※認知計(「第二回以降は（も）挑戦するつもり」～「判断できる立場にない」までの合計値)

【2019年】



※認知計(「第一回から挑戦したい」～「判断できる立場にない」までの合計値)

【挑戦する意思がない人の自由回答】

挑戦するつもりはない

ピンとこない
メディアで取り上げていただく以外のメリットがあまり感じられない
組織、形に囚われたくない。
スローガンは同じ思いはあるが具体的に会社方針にするつもりはない
目的がハッキリしない
どういった取組が向いているのか、まだ分からない。第一回のプレゼンを見て、評価基準があいまい。

「米沢品質向上運動」参加で支援してほしいこと

- 支援を希望するのは、経済的・資金援助、米沢自体の付加価値を高める、対外的な広報活動、「そもそもセミナー」のような体験機会など。

Q11 「米沢品質向上運動」に参加していくにあたって、市からどのような支援を期待されますか。どんなことでも結構ですでお聞かせください。

自由記述

どんな支援をしてほしいか

立地が良くないのでPRに経費がかかる。PRに対する補助金などあればありがたい。

社内で行っていくつもりなので、支援はいらない

参加するとなれば市の補助金を予算化し、この運動を基に取り組むべきではである

米沢ブランド付加価値を高める ブランディング

参加する事と支援を一体化する体勢を作る

研究開発補助金を出してほしい。

具体的な事例なども指して欲しい

インフラやプラットフォーム支援で、米沢ブランドの柱や軸をしっかりと構築して欲しい

より全国、世界に発信する広報活動を行ってほしい。

関係機関への橋渡し

前回のような「そもそも・・・」等の講義は非常に役に立った。同様のものがあるとうれしい。当団体等のPR活動。

平等な支援。

あまりハードルが高くない方が良い

この事業の周知

市の支援はあまり期待できない。

生産技術の支援

わかりません

わからない。

特になし

米沢品質向上に対する意見

- 良い運動であり今後も続けるべきという意見の一方、「PR不足」「目先のことにとらわれない」「一過性にならないよう重みを持たせる」「対外的な認知度が上がらないと自己満足になってしまう」などの注文が寄せられている。

Q12 「米沢品質向上運動」について、ご意見がありましたら、どんなことでも結構ですでお聞かせください。

自由記述

向上運動全般への意見

分野、分野に分けて考えた方が進めやすいと思う 今のやり方では広範囲すぎる。

大変良い運動なので今後もすすめていただきたいです。

今後益々重要になっていくので、この運動は続けるべき

まだまだこの運動についてはPR不足である 米沢の観光においてもそうだが目先の事ばかりとらえず、もっと多くの人に知らせるべき

アワードの方法をいろいろな形でやってほしい

まだまだだと思う。一過性にならない様な重みを持たせて欲しい

品質向上の運動内容がわからないのでどんな活動をしているのか資料が欲しい 市広報に載せてもらう

市外、県外での認知が上がらないと自己満足にしかならないのではないかな？

大変良い運動と思いますが、運動の中広い周知

なし

わからない。

品質向上を図っていく対象

- 米沢品質向上運動で品質向上を図っていく対象は、「農産品」「人・社員」「サービス」「伝統料理」「生産設備」「技能」「観光としての地域」「あいさつ」など幅広く挙げられた。これこそ米沢品質向上運動が目指すところ。

Q13 あなたの企業や団体で、品質向上を図っていくとしたら対象は何ですか。

自由記述

対象として挙げたもの

商品と人材

米沢人の人柄、やさしさ、風土 食の豊かさ等

社員

人づくり

さわやかなあいさつ！

農作物

農業生産物、特に米。

農産物

農産物 果樹

農産品

米・枝豆・大豆・野菜

作品、サービス

サービスと、郷土料理を提供しているので、伝統料理

品質になる向上心

作業員各々の技能の向上

製品

生産設備 省力設備 装置製品

新しい価値感の観光地域づくりの仕組み。

・生産している製品 ・改善活動自体の質、レベル

世界品質

製造製品

カレンダー、商業印刷物、名入れタオル他ノベルティ

顧客満足度

遊び場を自由開放しているので、その整備に使いやすく、たのしくし、品質向上させる。

参加の意思なし

特になし

わかりません

品質向上を図るにあたっての課題

- 支援してほしい事でも挙げられた「資金」「人材」「PR」もあるが、前提としての「一人ひとりの意識」「個人の認識」の高まりが必要とする課題認識がある。

Q14 あなたの企業や団体で、品質向上を図るために、課題となる事はどんなことですか。

自由記述

課題点
人と資金
人を育てる
人材不足
人材育成
組織の団結力。
資金、人材、アイデア
個人の認識、設備(品質検査装置など)
営農資材を購入するための経費の補助 自然災害
資金力
PR、販売方法
意識づけ
品質向上は一人一人の意識の高まりが必要で、それを理解させる手法と言える事があるのか。
天候不順
郷土料理や伝統行事の資料集め
技能習得までの期間の給与の保証。
品質の安定性
参加の意思なし
既成概念。食うのに手一杯な業界
規格に合ったもの
商品の特性の調査
特になし
わかりません

「米沢ブランド戦略」や「米沢品質向上運動」の活動全般に関する意見

- この活動の内外への認知拡大。市民を更に巻き込み、全国・世界にも認知を広げる努力。
- 目先のことに囚われない長期的な取り組みの必要性。
- 産官学、生産者と消費者、団体と団体のような新たな一緒に取り組むための仕組み。

Q15 「米沢ブランド戦略」や「米沢品質向上運動」の活動全般に関して、ご意見がありましたら、どんなことでも結構ですでお聞かせください。

自由記述

活動全般に対する意見

スピードが大事だと思います。様子見しながらすすむとなかなか結果が出ないのでどんどんすすめてください。

もっと他(会社町人)の動きを学ばなければならない。

このような戦略、運動をされている事すら、市民は知らないのではないのでしょうか？

例えばアワードグランプリはそれなりの付加価値を認識できる様、米沢品質のブランディングを全国に広めてもらえたら、また付加価値が生まれると思う

参加するメリットを出していく必要があるのでは

現在の状況からなかなかむずかしいと思います。しかしやれる事から1つずつ実行していくしかないと思います。たとえば「米沢ブランドネットショップ」の立ち上げ等生きのびるためには売上がなければどうにもなりません！

まだまだ目先の金や売上を追っているの、それでは永遠にブランド化は無理。市場戦略とブランド戦略は別モノと使い分けなければ駄目。

Q11でも書きましたが、活動自体の広報活動が不足していると思います。もっと全国、できれば世界に向けて、イメージ、製品、産品を発信していくべきです。その部分は米沢市が全面的にやる部分だと思います。

産、学、官の連携

生産者と消費者が一諸に行動すべき

団体と団体がいっしょに何かできるようなくみ(?)サポートの機会があればなと思います。

参加の意思なし

わかりません

なし